

ほほえみ新聞

THE Yasuragi

<http://yasuragi.cn>

ホームページもご覧下さい

2011年 5月発行(第37号)

編集:やすらぎの園 広報部

E-Mail : nagano@yasuragi.cn

所在地 : 〒388-8019

長野市篠ノ井杵淵 213-4

TEL026-293-2600 Fax026-293-2959

地域密着型 介護老人福祉施設

柴やすらぎの園開所



平成二十三年四月一日。長野市で初となる地域密着型介護老人福祉施設「柴やすらぎの園」が開所しました。

運営方針は「個人の尊重」、「ノーマライゼーション」、「地域の重視」。松代・柴の地で皆様から愛される施設を目指し、職員一丸となって取り組んで参ります。

雑感 〜今を強く生きよう〜

最初に、頭の中が揺れ、軽いめまいの様な感覚が続いた、いよいよ私も脳梗塞か：その直後、周りの声で我に返った、ゆっくりと長い横揺れ、これは紛れもなく地震だ！「落ち着いて！」思わず大声を出していた。きつと予想されていた東海地震があったのかも知れない：不安が心を過ぎた。それは二〇一一年三月十一日午後二時四十六分、三陸沖を震源とする大地震、恐怖の津波の始まりでもあった。非常放送設備のマイクを握り、入居者、職員の異常はないか点検報告を求めた。幸い、三十二年経過の施設だが、特徴あるコンクリート壁構造の堅牢建物には異常はなく、全員の安全が確認できた。地震情報を確認すべくテレビの電源を入れる、何とということか十メートルを超える大津波が押し寄せる驚きの画面、正視できないほどの凄まじく信じられない映像が飛び込んできた。がれきと海水の混じりあった津波が、濁流となって道路や畑を呑み込み、走っている車に襲いかかる：多くの命が吞まれていった現実の映像であった。その後の情報で東北沖から関東沖までなんと五百キロに渡って断層が動き、明治以来の観測史上国内最大級の地震、M9.0「東日本大震災」。その日を境にダメ日本は一変した。いやこの事実からは、一致団結向かう道のみ、国を挙げての又全世界からの救援活動や支えあいの輪が広がった。

この時期、当会では地域福祉推進への強い決意のもと、心血を注いで建設を進めていた新施設がいよいよ完成の運びとなり、翌週には竣工式を行う状況にあった。日を追う毎に数方とも及ぶ被災者や行方不明者の惨事を知り、完成祝賀は到底考えられない心境であった。テープカットや祝賀を廃し、完成・感謝の式として貰った。その後、新年度に向けての様々な諸準備、難題の人事調整、私用では職員の結婚式等、慌ただしい中で二十二年度末を過ぎた。新年度の四月、多くの新採用職員を迎え、気持ちも新たに入社式、新施設開所に伴う大規模職員配置転換も実施した。年度初めの恒例職員全員研修会「目的に向け努力しよう！」のかけ声、その希望に燃えた日を過ぎ数日後、なんと入居者や職員に下痢症状を呈する方々が突然出現し、従来の経験を超えた圧倒的なスピードで拡大していった。ノロウイルス発生の緊急事態を意識し、早期に保健所連絡、関係全職員の参加の基、直ちに対策チームが動いた。諸活動を徹底するも終息まで一進一退の状況で多くの労苦や損失を要し、様々な方々にご迷惑をお掛けしてしまつた。

そして今、全てが落ち着き新緑の五月を迎え、混乱の中で過ぎてきた様々な日々を心静かに思う。今を強く生きよう、様々な困難はそれも明日へのつながりの一つ：困難に遭遇した子供たちの声、素直でしっかりとした発言を聞き、これからも全てが大切な時間、希望を持って強く歩んでいこう、立ち上がれ日本！！

所長 中島謙二